

つやま産業塾の風景

第12期 経営能力開発講座

期間 / 平成19年10月～平成20年9月

回数	期 日	テーマ	講師等	
1	平成19年10月12日	開講式・オリエンテーション	つやま産業塾塾長	和田 力
2	平成19年11月13日	事業所・会社案内(塾生による 自社説明)		
3	平成20年 1月15日	事業所・会社案内(塾生による 自社説明)		
4	平成20年 2月12日	経営基礎理論 ・経営戦略の 策定方法 ・バランススコアカ ードの作成と導入支援	(株)プランナーネットワーク 代表取締役	日笠 達夫
5	平成20年 3月11日	経営基礎理論 ・会計の基礎 と企業活動	アルマ経営研究所取締役	加藤 珪一
6	平成20年 4月 8日	企業経営の実際 ・株式上場 までの経過 ・社員教育のす すめ	(株)メッセージ代表取締役	橋本 俊明
7	平成20年 5月13日	企業経営の実際 ・経革のす すめ	(株)SL 化学研究所代表取 締役	公木 真由美
8	平成20年 6月10日	企業経営の実際 ・人も会社 も出会いに育まれて伸びる	(株)半鐘屋専務取締役	岡田 幸子
9	平成20年 7月 8日	視察研修(株式会社戸田レー シング)		
10	平成20年 8月19日	視察研修(院庄林業・本山合 金製作所)		
11	平成20年 9月12日	成果発表・閉講式・塾長講話	つやま産業塾塾長	和田 力
公開 講座	平成19年12月15日	人づくりと両備ハッピーライフ プロジェクト	両備ホールディングス(株) 代表取締役	小嶋 光信
特別 講座	平成20年 3月 5日	視察研修(株)山田養蜂場)		

第1回講座：開講式・オリエンテーション

日時：平成19年10月12日(金)

場所：津山圏域雇用労働センター



つやま産業塾第12期経営能力開発講座が開講しました。

今期は20名(うち11期からの継続6名)の方々が受講されます。受講される方の業種は、商業、工業、農業、サービス業、金融業等、年齢は20代から70代と様々な業種、年齢層からの参加となりました。

第1回講座では、和田力つやま産業塾塾長、高原清隆津山市産業経済部長の挨拶にはじまり、志望動機を含めた自己紹介を行ないました。受講動機には、「刺激がほしい」、「後継者で帰津したばかり。経営を勉強したい。」、「津山に赴任してきたばかりで、友人知人を作りたい。」等様々で、中には「以前受講していた。初心にかえて勉強したい。」という方もおられました。

自己紹介のあと、和田塾長より、今期のカリキュラムのコンセプトの説明、「人はきっかけがあれば変わる。講座できっかけを作ってほしい。」との講話をいただき、代表幹事1名、幹事2名を選出しました。

講座後には、約半数の方が懇親会に参加され、名刺交換や情報交換がなされたようです。

これから1年間、塾生の皆様とともに、事務局も勉強させていただきます。津山の活性化のため、ともに頑張りましょう！

第2回講座：自社紹介

日時：平成19年11月13日(火)

場所：津山圏域雇用労働センター



第2回講座は、15名の塾生が参加し、8名の方々が自社紹介をしました。

氷温米の販売、建設業としての生き残り、図書館の活用方法、水耕栽培を始めるきっかけなど、それぞれの事業所の業務内容や、抱えている課題について、パソコンやパンフレットを使って説明しました。

受講生からは、「傾斜のある駐車場のラインは滑りやすいが対策はあるのか?」、「節税対策ができる生命保険の商品は?」などの質問が出され、活発な意見交換ができたようです。

また、今期から行なわれる自主研修について、塾生の希望する研修をお尋ねしたところ、「圏域にある元気のいい事業所を訪問したい」、「塾生の事業所を訪問したい」など、視察研修を希望する意見と、「バイオマス関係の事業所の担当者の話を聞きたい」、「津山を拠点として全国にフランチャイズ展開をしている建設業の経営者の話を聞きたい」など、講座を希望する意見が出され、第3回講座で結論を出すこととなりました。

講座終了後は、発表された方に個別に質問をされたり、図書館の本の貸し出しを受けたりと各々で交流されていました。

今期も楽しい講座になりそうです！

市民公開講座

日時:平成19年12月15日(土) 13:30~15:00

場所:津山国際ホテル 桜華の間

講師:小嶋 光信 氏(両備ホールディングス株式会社 代表取締役社長)

演題:人づくりと両備ハッピーライフプロジェクト



つやま産業塾では、「自ら考え、自ら行う人づくり」を理念に掲げ、定例の講座とは別に、一般市民の皆様にもご参加いただける市民公開講座を毎年開催しています。

今年度は、両備グループの小嶋光信氏をお迎えし、両備グループでの人材育成についてお話いただきました。

両備グループでは、社員を解雇することは禁じ手であり、人、物、金をグループ全体で必要なところに配置するため、両備ホールディングス株式会社を設立したこと、日本には、4つの不安(生活不安、健康不安、老後不安、教育不安)があるが、その解消のために両備グループでは教育センターや健康づくりセンターを設置し、35才以上の社員には人間ドックを義務付けていることなど、両備グループでの人材育成事業の取り組みについてお話いただきました。

また、「健康×能力×やる気が個人の幸せであり、会社の発展につながる」との考えで、社員自らが努力して幸せをつかむお手伝いを会社がしている(両備ハッピーライフプロジェクト)ことなどを、時にはユーモアも交えてお話いただきました。

受講された方々からは、「楽しく受講できた」、「共感した」等のご意見をいただき、本当に有意義な時間を過ごすことができました。

小嶋先生、本当にありがとうございました。

参加者 公開講座:141名(塾関係者 30名 一般参加者 111名)

小嶋 光信 氏 略歴 昭和43年3月 慶應義塾大学経済学部卒業
昭和43年4月 株式会社光井銀行入行
昭和48年5月 両備運輸株式会社常務に就任
平成11年6月 両備バス株式会社社長に就任
平成19年4月 両備ホールディングス株式会社社長に就任
両備グループ全58社のうち43社の社長を務めておられます。

第3回講座：自社紹介

日時：平成20年1月15日(火)

場所：津山圏域雇用労働センター



第3回講座は16名が参加し、10名の方々が自社紹介しました。

金属の種類を判別する機械の実演、新店舗を某ショッピングセンターに出店するに至った経緯、インターネットショッピングでの事業拡大等、受講生が現在取り組んでいる事業について、説明されました。

回答された受講生に自社の商品券を配布される方、起業の経緯から現在までの変遷について説明される方、「経営理念で”顧客、社員、金融機関、経営者にとって、日本一の事業所にしよう”としたが未だにできない」、とこれまでの反省をされる方等、様々な手法で説明されました。

受講生からは、「古い厨房機器は引き取ってくれるか?」、「インターネットショッピングを始めるにはどこが有効か?」等の質問があり、楽しく有意義な時間となりました。

また、今期の新規事業として行われる自主研修については、前回講座で受講生からいただいた案について投票で決定され、近隣の大手事業所を訪問することになりました。といっても、その事業所が受け入れをしていただけるかどうか……。事務局としても、受け入れいただけるよう、がんばって交渉したいと思います。

第4回講座:経営基礎理論(1)「経営戦略の策定方法」「バランス・スコアカードの作成と導入支援」

日時:平成20年2月12日(火)

場所:津山圏域雇用労働センター

講師:日笠達夫氏 (株)プランナーネットワーク 代表取締役



第4回講座は、12名の塾生が参加し、日笠講師からバランス・スコアカードを用いた経営戦略の策定についてお話いただきました。

日笠講師から、「儲かる会社にするには、経営者から社員まで同じ方向を向いていなければならない。そのためには、経営戦略を策定し、社員が見える状況にする必要がある。」との説明から、バランススコアカードの有効性の説明をいただきました。

塾生からは、「バランススコアカードは一部門のみでもよいのか？」等の質問が出る等、活発な講座になりましたが、短時間での講義であったため、バランススコアカードを実際に作成できなかったことは残念でした。

特別講座(自主研修講座)

日時:平成20年3月5日(水)

場所:(株)山田養蜂場(苫田郡鏡野町市場194)



自主研修講座は、合計14名が参加し、鏡野町の(株)山田養蜂場さんを見学させていただきました。

この講座は、今期からの新規事業で、定例講座とは別に塾生自らが企画した講座を特別講座として実施しました。特別講座ということもあり、つやま産業塾の運営を審議いただき、津山市人づくり事業運営委員会の皆様にも参加を呼びかけ、お忙しいなか1名の委員に参加いただきました。

(株)山田養蜂場さんへの訪問は、第3回、第4回講座の後、塾生間で協議し、「地元で全国に発信している優良企業」を見学したいとの意見が多数を占め決定しました。

まず、会社の概要説明では、事業展開の契機や、企業理念についてご説明いただき、その後の施設内の見学では、実際の作業形態や品質管理についてご教示いただき、最後に、顧客ニーズの把握方法等についての質疑応答で丁寧な説明をいただきました。また、「電話を受ける方を、オペレーターではなく、コミュニケーターと呼ぶ。」等、斬新な考え方をされていることもご説明いただきました。

視察後に、ショップで買い物を楽しみ、その後雇用労働センターで意見交換会を行いました。意見交換会では、「企業理念に感銘した」、「徹底した社員教育が参考になった。」、「トイレにユニークな取り組みがされていた」等活発な討論ができ、大変有意義な講座となりました。

最後になりますが、お忙しいなか長時間にわたり丁寧な説明をいただいた、(株)山田養蜂場文化広報室の皆様、本当にありがとうございました。

第5回講座：経営基礎理論(2)「会計の基礎と企業活動」

日時：平成20年3月11日(火)

場所：津山圏域雇用労働センター

講師：加藤珪一氏 (株)アルマ経営研究所 チーフコンサルタント



第5回講座は、10名の塾生が参加し、加藤講師から損益計算書や貸借対照表を用いた経営分析についてお話いただきました。

「売上高が10%しかあがらなくても、営業利益は4倍程度になる。」ことや、「営業利益がプラスであっても、現金は大幅に減少していることもある。」ことなどを、架空の漬物会社のデータをサンプルとして実習しながら勉強しました。

受講生からは、「人件費は残業代の支払があれば固定費ではなく変動費になるのではないか。」や、「売れ残り商品は資産価値があるのか。」等の質問が出され、活発な講座となりました。

講座終了後は、加藤講師を囲んでの懇親会を行い、交流を深めました。

津山市では、平成20年4月1日で大規模な機構改革が行われます。平成2年につやま産業塾が開設されてから17年間地域活性化室で事務局を担当しておりましたが、4月からは新設される「経済文化部産業支援課地域ブランド開発係」が事務局を担当することとなりました。これまでつやま産業塾を支えていただいた皆様方、本当にありがとうございました。そして、津山市の発展のため、新たな体制となりましても、これまで同様ご指導いただきますようお願いいたします。

第6回講座：企業経営の実際(1)「株式上場までの経過・社員教育のすすめ」

日時：平成20年4月8日(火)

場所：津山圏域雇用労働センター

講師：橋本俊明氏 株式会社メッセージ 代表取締役



第6回講座は、10名の塾生が参加し、橋本講師から株式上場までの経緯と社員教育についてお話いただきました。

橋本講師の体験談を交えたユーモアのある講義に、会場は和やかな雰囲気の中進行しました。

橋本講師は、現在の株式上場に至るまでの経緯や、問題発生時の結論の導出方法を社員教育の観点と企業経営の観点から講話され、塾生は熱心に聞き入っていました。

橋本講師は、岡山大学医学部を卒業後、病院の勤務医・医療法人・社会福祉法人経営を経て、1999年に現在の株式会社メッセージの代表取締役社長に就任されました。そして現在は4つの法人の代表に就任されています。

講義では、これまでの経歴や事業展開とその社会背景を、スライドを使い分かりやすく講演され、常に社会の流れを分析しその先を行く事業展開の必要性をご自身の体験をもとに講演されました。

経営上の問題発生と解決方法では、高齢者の施設経営上発生する問題を例に、通常の問題解決方法に加え、企業として倫理・法・生産性向上の三次元でのアプローチ方法を説かれました。塾生からは「講座に参加して、自分では見えていないものが講演を聞くことによって見えてきてよかった」との感想がありました。

講座終了後も、橋本講師のまわりには参加者が集まり質問が飛び交い、最後まで熱気あふれるものとなりました。

第7回講座：企業経営の実際(2)「経革のすすめ」

日時：平成20年5月13日(火)

場所：津山圏域雇用労働センター

講師：公木 真由美 氏 株式会社S L 化学研究所 代表取締役



第7回講座は、7名の塾生が参加し、企業の経営革新についてお話しをいただきました。

公木講師は、30歳のときに重い病気をされ、その経験から「これから先の人生はおまけ。これから先の人生は人のためになることをしよう」と決心されました。

ふとした出会いから現在の会社にお勤めになり、今日に至るまでの苦労ややりがいを塾生にわかりやすくお話いただきました。

経営革新についてのお話では、具体的な手法と実行の効果について説明され、塾生からは現在の会社の状況や今後の展望についての質問がありました。

また、企業の人材育成についてのお話では、教える側と教わる側の温度差をどう克服するか。また、社員の継続力と責任感はどうすれば育つのかという問題を塾の中で活発に議論しました。

最後に、公木講師から、「夢は言葉にすれば実現する」「いつからでもスタートは遅くない」とのアドバイスがあり、みなぎるパワーに参加者はみないきいきとした顔になりました。

第8回講座：企業経営の実際(3)「人も会社も出会いに恵まれて伸びる」

日時：平成20年6月10日(火)

場所：津山圏域雇用労働センター

講師：岡田 幸子 氏 株式会社半鐘屋 専務取締役



第8回講座は、12名の塾生が参加し、岡田専務から「人も会社も出会いに恵まれて伸びる チャンスに尻尾はない！」と題してお話をいただきました。

当日の講義では、半鐘屋で健康食品を扱うことになったきっかけや、新事業を行うにあたっての先代の反対など、塾生にとってより具体的な問題・課題についてお話をいただきました。

この半鐘屋の健康食品もそもそもは岡田専務が必要に迫られて開発した商品のようで、当時知り合いの10人程度に分けていたものが、今では2万人に広がるものとなったそうです。

ここまで顧客を広げたその経営理念とは、「買わせていただくのも商売、売らせていただくのも商売」顧客の声に耳を傾け、顧客を大切にすることはもちろんのこと、取引先にも喜んでもらえるようなそんな商売をしているとのことでした。

また、新店舗設立時の苦労も、「ピンチはチャンス」「自分が日々問題意識を持っていれば必ずチャンスに巡り合う。そのチャンスはその瞬間につかむこと。」「そのためには日ごろの準備がないとつかめない」と、業種に限らず、誰にも通じる心構えを説かれました。

質疑応答の時間では、特許取得の実際や、岡田専務のそのやる気の源はどこからくるのかなどの質問がありました。

第9回講座：企業視察研修（株式会社戸田レーシング）

日時：平成20年7月8日（火）

場所：株式会社戸田レーシング（小田郡矢掛町）

講師：戸田レーシング代表取締役 戸田幸男 氏



第9回講座は、企業経営の実際を現場から学ぶことを目的に視察研修を実施しました。

当日は、8名の塾生が参加し、株式会社戸田レーシングにお邪魔しました。視察では、昨年新築された新工場（小田郡矢掛町）を訪問し、工場内を見学しました。工場では、設計、加工、組立と各部門をそれぞれ見させていただきました。

各部門の社員のみなさんは、まさに職人といった感じで、専門書籍や、特殊機械に囲まれた各職場で真剣ながらも楽しそうな雰囲気印象的でした。

工場見学のあとは、戸田社長による講義をいただき、22歳で創業され、今年で38年目となる戸田レーシングのこれまでの経緯や、これからの展望などをお話いただきました。塾生からは、昨今の原油価格高騰を受け、今後の企業経営の戦略や、派手なレーシング業界でお金の誘惑はないのかなど質問がありました。

最後に、好きなことが商売として成功する秘訣として、「諦めない。まわりにどれだけ反対されようと続けること」が一番大切なことだと教えていただきました。

やはり百聞は一見にしかずで、モノづくりの現場を直接目で見ることにより、製品管理の厳しさや会社の雰囲気など通常の講座では学べない多くのものを学ぶことができました。

当日は戸田社長をはじめ、スタッフの方には当初予定していた時間を延長して質疑応答など最後まで丁寧な対応をしていただきました。お忙しいところ本当にありがとうございました。

第10回講座：企業視察研修(インノショウフォレストリー・本山合金製作所 / 東海合金製作所)

日時：平成20年8月19日(火)

場所：インノショウフォレストリー・本山合金製作所 / 東海合金製作所)



第10回講座は、企業経営の実際を現場から学ぶことを目的に視察研修を実施しました。当日は、7名の塾生が参加し、津山市内の企業2社を視察させていただきました。午前中は院庄林業株式会社の系列会社であるインノショウフォレストリー久米工場を訪問しました。インノショウフォレストリーでは、太陽光を利用した発電力で最高670kW/hが可能な太陽光発電パネルを工場屋根に設備したり、加工段階でどうしても出てしまう廃材を木質ペレット化や家畜などの敷藁にしたりと、環境問題に注力されています。当日はあいにくの雨でしたが、工場敷地内を一望できる展望台から太陽光発電パネルを見学したり、工場内の加工ラインを見学させていただきました。見学後の質疑応答では、環境問題の取り組みについて小林専務から、「企業の取り組みとして海外の森林を買い取るなどしているところがあるが、日本の企業として、日本の森林を活性化させるのがわれわれの役目」と説明されました。企業の社会貢献の責任感の重みを感じるその言葉が印象的でした。午後は、綾部の工業団地内にある、本山合金製作所と東海合金製作所を訪問しました。本山合金製作所 / 東海合金製作所では、超硬合金の製造から精密加工、水やエアなどのスプレージルの製造をされています。当日は、松本社長から会社概要を説明していただき、工場内を見学させていただきました。工場内はまさに日本が得意とする精工なモノづくりの現場という雰囲気、難しそうな機械を操る従業員の方の真剣なまなざしが印象的でした。見学後、質疑応答の時間では、人材育成の質問に対して、モノづくりにおいて最終的に機械を動かすのは「人」、その「人」=従業員の技術力が会社の財産であり競争力を高めるという考えのもと、技能コンテストを開いたり、他社に技術研修のため出向させたりと、人材育成には力を入れているとのことでした。お話を伺うにつれ、このような社員個々の力を大切にする「人」を軸にした企業経営により、社長の思

いが従業員に伝わり、その従業員が期待にこたえようとさらに頑張るという好循環の図式が浮かびました。

午前・午後とも、長時間にわたり質疑応答までお時間をいただき対応していただきました院庄林業様、本山合金製作所様、本当にありがとうございました。

第11回講座:修了式

日時:平成20年9月12日(金)

場所:津山圏域雇用労働センター



第11回講座は、第12期経営能力開発講座の修了式を行いました。

修了式では、和田塾長から修了者の塾生に対し修了証書の伝達を行いました。修了証書の伝達のあと、塾生のみなさんから1年間の講座を振り返っての感想を話していただきました。

塾生の中には、視察研修で大きな刺激を受けた方や、塾生同士の交流が大きな財産になったとの感想をいただきました。また、このつやま産業塾をきっかけに、さらに別の経営塾に参加することになった方もいました。つやま産業塾の目的のひとつである変革のきっかけづくりの場として役に立ったのではないのでしょうか。塾生のみなさんのさらなるご活躍を期待しています。

最後に40年以上教職に携わった塾長から、「何かを教えるにあたって最も効果的な方法は「教えないこと」です。すなわち教える側は、教わる側に対して感動や気づきのきっかけを与えられればそれでいい。ただしそれが一番難しいこと。」と講和がありました。

12期の塾生のみなさん1年間お疲れさまでした。つやま産業塾がみなさんにとって感動や気づきの場となったでしょうか。この津山の地で産業界を引っ張るリーダーとなりますます活躍されることを心から期待しています。ありがとうございました。

このつやま産業塾経営能力開発講座も平成2年の開講から18年続いています。いよいよ来月から13期を開講し、講座内容も12期の内容に負けないくらい充実したものになっています。事務局としてもこのつやま産業塾がいきっかけの場となるよう、いろいろ工夫してまいりますので、これからもよろしくお願いします。